

東山温泉観光協会長がPR

来月1日開幕 民報社が協賛金贈呈



芳見社長から協賛金を受け取る今村副会長（右から2人目）と（左から）平賀会長、古都乃さん

山温泉観光協会 電話02
42(27)7051へ。

会津若松市の東山温泉観光協会の平賀茂美会長は19日、福島民報社を訪れ、8月1日から4日まで5年ぶりに東山温泉で開催される東山盆踊りをPRした。

1日の「福島民報の夕べ」で開幕し4日までの連夜、福島民報社寄贈のやぐらを囲んで市民らが踊り流す。3日は東京電力福島第1原発事故の影響で市内に避難した大熊町民と市民が絆を強める「大熊町民の夕べ」が復活する。

東山盆踊り実行委員会の主催。平賀会長は「東山温泉をより盛んにしていくための契機にしたい」と語った。同席した今村初子副会長は「東山温泉芸妓（げいぎ）屋協同組合理事長は「芸妓はたゆまぬ努力をしてきた。盆踊りが再びできるのはうれしい」と語った。芸妓の古都乃さんも同席した。席上、福島民報社の芳見弘一社長が協賛金を贈呈した。

盆踊りの問い合わせは東